

聖和キャンパスの思い

芝 田 正 夫

教育学部が関学10番目の学部としてスタートしてからはや2カ月が経過しました。1年生322名は、1期生としての大きな希望をもって、聖和大学と聖和短期大学の学生たちとともに、西宮聖和キャンパスでの大学生活を始めています。

ご承知のように、教育学部は、関西学院大学文学部総合心理科学科臨床教育学専修と、聖和大学教育学部を母体として、これまでの聖和大学の地に開設されました。このことから、教育学部では、関西学院大学における教育学研究の伝統と、聖和大学教育学部の伝統をともに受け継ぎ、また新しい時代に向かって、それをさらに発展させていきたいと考えています。

そのため、教育学部では、関学のスクールモットーである“Mastery for Service”とともに、聖和大学のスクールモットーもまた大切にしていきたいと思っています。聖和大学のスクールモットーのうちに、3つのH（Head, Heart, Hand）があります。真理の探究、自分を愛し人を愛する心、奉仕と実践の3つを大切にするという教育理念です。そして、この3つのHの調和のとれた人間を育成し、キリスト教主義に根ざし、小さき者、弱き者を支える働き人を世に送り出すことを目標とされてきました。

こうした両大学のスクールモットーは、教育学部の理念である「実践力」、「教育力」、「人間力」をもつ教育者の育成に直接つながる言葉だと思っています。

知識を深め、人を愛し、人に奉仕し、実践を大切にする教育者を、教育学部では育てていきたいと願っています。

教育学部のチャペルアワーには、教育学部の1年生だけではなく、聖和キャンパスの沢山の学生や教員の方が出席されています。チャペルアワーを聖和キャンパスがひとつであることを実感する機会にしたいと、田淵結教育学部宗教主事は何度も学生に呼びかけてこられました。ふたつの大学のスクールモットーを基盤としたあたらしい共同体がチャペルアワーからも生まれ、それが聖和キャンパスの伝統を作っていく力になることを心から祈っています。

(教育学部長)